

# アクアネット梅山

アクアネット梅山				市町村名	袋井市		
地域	梅山地区一円		代表者名	近藤三雄	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	122.60	対象面積 (ha)	水田	122.60	対象資源	数量
	畑	3.70		畑	3.70	農用地	126.6ha
	草地			草地		開水路	14.5km
	計	126.30		計	126.30	パイプライン	14.6km
主要作物	水稲、麦		参加団体	部農会 磐田用水東部土地改良区 自治会 地明会 子ども会 自治連合会 老人会		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	23.0km
人数	23	24	47			事業費(年)	5,498,000
主な活動内容	<p>(基礎部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地等の発生状況の把握</li> <li>・施設の点検</li> <li>・共同作業計画の策定</li> <li>・草刈り</li> <li>・配水操作 他</li> </ul>		<p>(農地・水向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の機能診断</li> <li>・診断結果の記録管理</li> <li>・年度活動計画の策定</li> <li>・きめ細やかな雑草対策</li> <li>・ゲート類等の保守管理の徹底</li> <li>・通水試験の実施 他</li> </ul>		<p>(農村環境向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成、生活環境保全計画の策定</li> <li>・広報活動</li> <li>・地域住民等との交流活動</li> <li>・景観形成のための施設への植栽等</li> <li>・農用地を活用した景観に配慮した作付け</li> </ul>		
地域の概要	<p>旧浅羽町の中央に位置し、周囲を水田に囲まれた稲作地域です。標高も2mと低く、用排水には昔から苦慮してきた地域でした。昭和50年に県営圃場整備事業で、田んぼの区画・用排水路が整備され、特に用水路をパイプライン化したことで、用排水分離がなされ、大規模農家による近代的な農業経営がされてきました。</p>						
目指すべき方向	<p>用排水に苦慮してきた農家にとって、圃場整備事業により造成された施設は、長年の夢であったが便利になった反面、知らず知らずの内に田んぼから農作業をする農家の姿を消し去っていった。このため、田んぼに賑わいを取り戻す活動をしていき、農業の大切さを訴えることをしていきたい。</p>					<p>施設の点検</p> 	
活動の感想	<p>農用地を利用して、田んぼへの賑わいを目的にコスモス・ヒマワリの栽培をした。コスモスについては、旧浅羽町の時から実施してきた経緯もあり、認知度も高く引き継ぐ形で活動したが、町を挙げて予算取りをしてきた事業とは違い、本会の活動費を捻出する形での実施に戸惑いを感じながらの活動でしたが、多くの見学者やメディアの取材にスタッフのやる気が生まれこれまで以上にまとまりが生まれた。</p>					<p>きめ細やかな雑草対策</p> 	
課題	<p>今年は農業者が活動をしてきたところが多く、非農業者が積極的に参加できる環境や活動メニューになるように進めていきたい。このために今一度、本事業の趣旨を理解して、活動の方法などを非農家参加しての検討会をしていきたい。</p>						
抱負・コメント	<p>昔から水に対して苦慮してきた地区であるため、圃場整備等で整備された施設を再調査して、今後地域の財産として末永く後世に引き継ぐ施設として考えていきたい。又、地域文化を大切に引き継ぎ農村社会の仕組みを大切にしていきたい。</p>					<p>景観形成のための施設への植栽</p>	